



2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月7日

上場会社名 株式会社 天満屋ストア 上場取引所 東
 コード番号 9846 URL <http://www.tenmaya-store.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)野口 重明
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員管理本部長 (氏名)加島 誠司 (TEL)086-232-7265
 四半期報告書提出予定日 2020年10月14日 配当支払開始予定日 2020年11月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	34,435	△3.9	1,005	3.4	1,056	△1.6	679	△1.6
2020年2月期第2四半期	35,844	△4.3	972	△16.3	1,073	△12.8	690	△10.5

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 696百万円 (3.5%) 2020年2月期第2四半期 673百万円 (△12.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	58.93	—
2020年2月期第2四半期	59.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第2四半期	46,844	21,629	46.1
2020年2月期	47,683	20,958	43.9

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 21,584百万円 2020年2月期 20,914百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	2.50	—	2.50	5.00
2021年2月期	—	2.50	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	△1.7	1,950	2.4	1,900	△8.6	1,000	△23.3	86.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期2Q	11,550,000株	2020年2月期	11,550,000株
② 期末自己株式数	2021年2月期2Q	19,302株	2020年2月期	23,288株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期2Q	11,529,569株	2020年2月期2Q	11,526,712株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により国内外の経済活動が停滞するなか、政府の緊急事態宣言以降、外出自粛や移動制限などから個人消費が冷え込み、景気は急速に悪化しました。緊急事態宣言解除後も感染再拡大の懸念から、景気回復の足取りは鈍く先行き不透明かつ深刻な状況が続いております。

こうしたなか、当社グループは、新型コロナウイルス感染症防止対策を最重点とした事業活動に取り組むとともに、危機管理やコンプライアンスの徹底によるコーポレート・ガバナンスの強化にも努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益(売上高及び営業収入)は344億35百万円(前年同四半期比3.9%減)、営業利益は10億5百万円(前年同四半期比3.4%増)、経常利益は10億56百万円(前年同四半期比1.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億79百万円(前年同四半期比1.6%減)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(小売事業)

小売事業につきましては、コロナ禍により大型店舗への客足が遠のき、衣料品や生活用品の需要が減少する一方、巣ごもり消費や在宅勤務などを要因に内食需要が高まり、食料品は堅調に推移いたしました。

こうしたなか、新型コロナウイルス対策として、店内混雑緩和を目的に折込チラシの配布や大型イベントの自粛、営業時間の短縮、「おもいやり優先時間」の設定及びマネー決済事業者との共同キャンペーンによるキャッシュレス決済の推進など、安全に配慮した販売体制の構築に取り組んでまいりました。加えて、従業員への感染防止対策支援やテナント家賃の減額要請への対応などを実施するほか、店舗及び部門間の繁閑に応じて要員体制を見直すとともに、省力機器の導入や業務のデジタル化により働き方改革の推進及び生産性の向上にも努めてまいりました。

また、当社において、3月に安定的な商品供給を目的に生鮮センター(岡山市南区)内に水産加工センターを開設、4月に東一宮店(岡山県津山市)の全面改装、7月に鴨方店(岡山県浅口市)を改装し、ホームファニッシングストア「ニトリ」を導入するなど既存店舗の活性化にも取り組んでまいりました。さらに、6月には、本部社屋の建て替えを行い、バックオフィスの最適化を目指し、フリーアドレス制の採用やデジタル化によるペーパーレスを推進するなど、効率的に業務を遂行できる環境を整備し、従業員の働き方改革に取り組んでまいりました。加えて、グループ経営において、移動販売事業の専門的運営を目的に、2020年3月1日付で当社子会社の有限会社ハッピーバラエティに移動販売とくし丸事業を委託いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間の小売事業の営業収益は317億87百万円(前年同四半期比3.2%減)、営業利益は9億32百万円(前年同四半期比16.1%増)となりました。

(小売周辺事業)

小売周辺事業につきましては、惣菜等調理食品の製造販売が主なものであり、引き続き徹底した品質管理と衛生管理に努めるとともに、商品開発の強化や生産性の向上に取り組んでまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、惣菜販売における主要取引先への供給減少や飲食店における客数減により極めて厳しい状況で推移いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間の小売周辺事業の営業収益は26億47百万円(前年同四半期比12.1%減)、営業利益は72百万円(前年同四半期比57.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億39百万円減少し、468億44百万円となりました。これは主に、流動資産が6億87百万円、投資その他の資産が1億7百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ15億10百万円減少し、252億15百万円となりました。これは主に、流動負債が9億41百万円減少し、固定負債が5億69百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億71百万円増加し、216億29百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ1億13百万円減少し、6億94百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ18百万円増加し、17億27百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が5百万円減少したものの、たな卸資産の増減や仕入債務の増減によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ2億93百万円増加し、4億95百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が1億83百万円減少したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ4億62百万円減少し、13億45百万円の支出となりました。これは主に、短期借入金が増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化すると予測され、景気回復の道筋が見通せないなか、厳しい状況が続くものと予想されます。そうしたなか、当社グループといたしましては、引き続きコロナ禍による消費者の価値観や行動様式の変化に対応すべく、来店されるお客様や従業員の感染防止策を徹底し、安定的な商品供給や混雑緩和の営業体制の維持などに注力するとともに、危機管理やコンプライアンスの徹底によるコーポレート・ガバナンスのさらなる強化にも努めてまいります。また、粗利益率の改善や販管費の合理化による収益力の向上に取り組むほか、デジタル化を積極的に推進し、業務の自動化・省力化を図り、労働力の確保と働き方改革へ対応するとともに、人材の育成と組織の活性化にも引き続き努めてまいります。

なお、事業拡張につきましては、当社小売事業において、2020年10月に津島店（岡山市北区）、12月に昭和町店（同）の新設を予定いたしております。

また、通期の業績予想につきましては、2020年7月8日公表の業績予想からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	808,589	694,681
売掛金	1,693,250	1,893,015
商品	2,540,436	2,195,423
貯蔵品	33,292	25,790
その他	1,919,326	1,497,451
貸倒引当金	△6,290	△5,739
流動資産合計	6,988,605	6,300,623
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,822,419	11,989,067
土地	14,616,240	14,616,240
その他(純額)	2,958,676	2,795,633
有形固定資産合計	29,397,336	29,400,941
無形固定資産		
のれん	152,688	133,181
その他	2,648,859	2,621,261
無形固定資産合計	2,801,548	2,754,442
投資その他の資産		
差入保証金	2,034,668	1,980,630
敷金	4,559,273	4,386,277
その他	1,915,242	2,034,458
貸倒引当金	△12,800	△12,800
投資その他の資産合計	8,496,384	8,388,567
固定資産合計	40,695,269	40,543,950
資産合計	47,683,875	46,844,573

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,641,078	2,888,633
電子記録債務	899,359	669,000
短期借入金	7,322,008	6,517,748
未払法人税等	424,037	399,091
賞与引当金	95,543	86,434
その他	3,443,798	3,323,607
流動負債合計	14,825,825	13,884,515
固定負債		
長期借入金	6,843,212	6,493,158
役員株式給付引当金	26,454	26,356
利息返還損失引当金	67,899	60,337
退職給付に係る負債	1,380,332	1,257,298
資産除去債務	219,636	221,682
長期預り保証金	123,379	115,846
長期預り敷金	1,988,716	2,009,439
その他	1,250,044	1,146,470
固定負債合計	11,899,676	11,330,589
負債合計	26,725,501	25,215,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,500	5,347,500
利益剰余金	12,007,099	12,657,681
自己株式	△26,876	△22,244
株主資本合計	21,025,223	21,680,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,464	44,647
退職給付に係る調整累計額	△152,556	△140,700
その他の包括利益累計額合計	△111,092	△96,052
非支配株主持分	44,243	45,084
純資産合計	20,958,373	21,629,468
負債純資産合計	47,683,875	46,844,573

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
売上高	34,307,499	32,915,593
売上原価	25,703,245	24,614,226
売上総利益	8,604,253	8,301,367
営業収入	1,536,878	1,520,009
営業総利益	10,141,132	9,821,377
販売費及び一般管理費	9,168,709	8,816,133
営業利益	972,422	1,005,243
営業外収益		
受取利息	1,625	1,600
受取配当金	38,963	39,312
雇用調整助成金	—	44,123
協賛金収入	5,183	12,020
受取補償金	114,535	6,190
その他	2,163	10,412
営業外収益合計	162,470	113,659
営業外費用		
支払利息	61,479	49,618
その他	367	13,040
営業外費用合計	61,846	62,659
経常利益	1,073,046	1,056,244
特別損失		
固定資産除却損	34,879	23,174
その他	8,625	9,213
特別損失合計	43,505	32,388
税金等調整前四半期純利益	1,029,541	1,023,856
法人税等	336,159	342,359
四半期純利益	693,381	681,496
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,155	2,040
親会社株主に帰属する四半期純利益	690,226	679,455

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
四半期純利益	693,381	681,496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,456	3,183
退職給付に係る調整額	12,119	11,856
その他の包括利益合計	△20,337	15,040
四半期包括利益	673,043	696,536
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	669,888	694,495
非支配株主に係る四半期包括利益	3,155	2,040

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,029,541	1,023,856
減価償却費	807,370	824,464
のれん償却額	19,622	19,507
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△29,941	△551
賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,875	△9,109
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,213	△105,983
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	5,150	△98
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	△8,662	△7,561
受取利息及び受取配当金	△40,588	△40,912
支払利息	61,479	49,618
固定資産除却損	34,879	23,174
売上債権の増減額(△は増加)	△250,313	△199,765
たな卸資産の増減額(△は増加)	△82,455	352,515
仕入債務の増減額(△は減少)	511,394	60,848
その他	18,520	127,165
小計	2,060,336	2,117,169
利息及び配当金の受取額	30,700	29,849
利息の支払額	△59,972	△51,283
法人税等の支払額	△322,182	△368,596
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,708,882	1,727,139
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△898,081	△714,569
無形固定資産の取得による支出	△34,545	△13,893
敷金及び保証金の差入による支出	△7,431	△29,001
敷金及び保証金の回収による収入	221,585	257,982
預り敷金及び保証金の受入による収入	18,105	22,418
預り敷金及び保証金の返還による支出	△88,363	△18,030
投資活動によるキャッシュ・フロー	△788,729	△495,094

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	380,000	△550,000
長期借入れによる収入	1,650,000	1,940,000
長期借入金の返済による支出	△2,653,407	△2,544,314
リース債務の返済による支出	△150,586	△140,651
自己株式の売却による収入	—	1,203
配当金の支払額	△86,620	△28,873
非支配株主への配当金の支払額	△1,200	△1,200
その他	△22,133	△22,119
財務活動によるキャッシュ・フロー	△883,948	△1,345,954
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	36,205	△113,908
現金及び現金同等物の期首残高	870,820	808,589
現金及び現金同等物の四半期末残高	907,026	694,681

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。